

Sasuke Financial Lab がアサイン管理の脱 Excel 化に向け、 開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」を導入

開発プロジェクトの予実の見える化を通じ、生産性向上も目指す

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、保険の診断・一括比較・見積もりサイト「コのほけん！」（<https://konohoken.com/>）を運営する Sasuke Financial Lab 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：松井 清隆、以下「Sasuke Financial Lab」）が、2023年2月、プロジェクト管理のDXを目的として、開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」（コアサイン、<https://www.co-assign.com/>）を導入したことを発表します。



「Co-Assign」導入背景

Sasuke Financial Lab では、「InsurTech 事業」開発プロジェクトにおいて、案件単位で開発工数やアサイン管理（プロジェクトへの人員割当）をしています。これまで、Google スプレッドシートで管理を行ってききましたが、サービス規模拡大により案件数が増加し、管理の負荷が高くなってきていました。合わせて、案件ごとの予実（予算と実績）の見える化を通じて生産性を高めていきたいというニーズもあったことから、2022年11月に「Co-Assign」をトライアル導入しました。その後、課題とニーズに合致した機能があることとシンプルで使いやすいユーザーインターフェースを評価いただき、2月に正式導入となりました。

「Co-Assign」について

「Co-Assign」は、要員の稼働計画を「高い解像度」でチーム内に共有することができるアサイン管理の脱 Excel サービスです。以下の効果を提供します。

・要員計画の脱 Excel 化

プロジェクトごとの稼働予定を管理し、人軸、プロジェクト軸で切り替えて見ることができます。

・受注キャパシティの拡大

受注予定案件の要員計画を、月ごと・受注確度ごとと集計できます。本当に不足する人材・スキルがわかるため、最適な人材配置を行うことができ、結果、受注キャパシティが拡大します。

・予実管理による粗利率の向上

進行中のプロジェクトごとに、稼働時間を入力することができます。プロジェクトごとの予実がリアルタイムでチームに共有されるため、粗利率が悪化する前に、対策を取ることができます。

今後の展望

アイリッジでは今後も、機能追加や使いやすさの改善を含めた「Co-Assign」のサービス向上を通じて、プロジェクト管理のDXを支援していく予定です。

Sasuke Financial Lab 株式会社について

会社名： Sasuke Financial Lab 株式会社 (<https://sasukefinlab.com/>)

本社所在地： 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 2 階 FINOLAB 内

設立： 2016 年 3 月

代表者： 代表取締役 松井 清隆

事業内容： デジタル保険代理店事業、InsurTech 事業

デジタル保険代理店「コのほけん！」

Web サイト URL : <https://konohoken.com/>

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業のOMO (Online Merges with Offline) 支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI (音声インターフェース)、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績を持ち、スクラッチ開発・パッケージ・機能拡張のすべてのアプリ開発と、アプリの運用・マーケティング施策に対応できるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始予定です。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。